

## 研究協力をお願い

### 《課題名》

ペインクリニック外来における带状疱疹後神経痛へのプレガバリンの効果

### 《研究対象者》

2012年8月以降2019年3月までに当院にて、带状疱疹と診断された患者

### 研究協力をお願い

本研究は、带状疱疹発症後の使用薬剤、使用に至る経過やその効果について、データを収集し分析することで、患者さんの带状疱疹後神経痛の治療効果の向上を目的としています。研究は、薬剤科で行い、該当する患者さんを対象者として登録し、診療情報を診療録から取得します。調査期間中に带状疱疹と診断された患者さんの年齢、性別、入院主病名、皮膚科の受診率、ペインクリニック外来の受診率、一般外来での使用薬剤、ペインクリニック外来での使用薬剤、プレガバリンの使用状況とその効果等を記録します。

情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって研究に関する事項を公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加(データ・情報提供)を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

#### ① 情報の利用目的及び利用方法

##### ・方法

本研究は、薬剤科で行い、該当する患者さんを対象者として登録し、診療情報を診療録から取得します。調査期間中に带状疱疹と診断された患者さんの年齢、性別、入院主病名、皮膚科の受診率、ペインクリニック外来の受診率、一般外来での使用薬剤、ペインクリニック外来での使用薬剤、プレガバリンの使用状況とその効果等を記録します。

##### ・調査項目

患者背景(年齢、性別、入院主病名)、皮膚科の受診率、ペインクリニック外来の受診率、一般外来での使用薬剤(带状疱疹治療薬、外用薬、鎮痛薬)、ペインクリニック外来での使用薬剤(带状疱疹治療薬、外用薬、鎮痛薬)、プレガバリンの使用状況(処方日数、開始量、最大用量、投与期間)とその効果

##### ・分析方法

統計解析にはt検定を用いて、一般外来、ペインクリニック外来での治療効果の違い等について、検討する。有意水準を5%とする。

##### ・個人情報の取り扱い

本研究で取得する要配慮個人情報とは別の研究番号を各症例に割り付け、患者の個人情報  
は匿名化した上で、解析を行う。

・実施場所

市立芦屋病院 薬剤科

・予定症例数

約 400 例

② 利用し、又は提供する情報の項目

患者背景（年齢、性別、入院主病名）、皮膚科の受診率、ペインクリニック外来の受診率、一般外来での使用薬剤（带状疱疹治療薬、外用薬、鎮痛薬）、ペインクリニック外来での使用薬剤（带状疱疹治療薬、外用薬、鎮痛薬）、プレガバリンの使用状況（処方日数、開始量、最大用量、投与期間）とその効果

③ 利用する者の範囲

研究の実施体制

実施責任者 薬剤科

中川 左理

共同研究者 薬剤科

岡本 禎晃

④ 情報の管理についての責任を有する者の氏名又は名称

実施責任者 市立芦屋病院 薬剤科 岡本 禎晃

⑤ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

研究対象者となる方又は代理の方で、本研究への情報の利用にご賛同頂けない場合は、情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には下記⑥にご連絡ください。

⑥ ⑤の研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

当院：電話番号 0797-31-2156、市立芦屋病院 岡本 禎晃